

BOOKKEEPING

レギュラー・年内完結・年内上級講義・速修コース

基本テキスト

簿記論



TEXT 1

テーマ 1

簿記一巡の手続

重要度 ★★★

簿記とは、企業が(1)一事業年度においてどれだけ儲かったか（損益計算）及び(2)決算時点における財産の有高はいくらか（財産管理）を明らかにする目的で、企業の営業活動による財産の増減変化を帳簿に記入することをいう。

具体的には、取引について仕訳帳で仕訳を行い、総勘定元帳の各勘定へ転記し、期末に決算を行って帳簿を締め切り、財務諸表を作成するという一連の行為を、每期、繰り返して行うことである。この一連の手続を「簿記一巡の手続」という。

なお、簿記一巡の手続には、原則法である「大陸式簿記法」と簡便法である「英米式簿記法」の2つの方法がある。



このテーマの学習内容

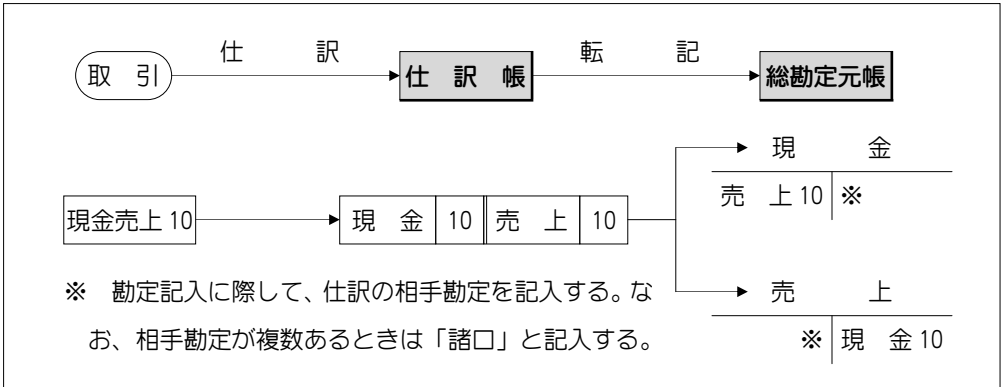
テーマNo.	学 習 内 容	レギュラー	年内完結	年内上級講義・速修
1-1	大陸式簿記法	No.1 第1回	No.1 第1回	No.1 第1回
1-2	開始手続	No.1 第1回	No.1 第1回	No.1 第1回
1-3	営業手続	No.1 第1回	No.1 第1回	No.1 第1回
1-4	決算手続	No.1 第1回	No.1 第1回	No.1 第1回
1-5	決算整理	No.1 第1回	No.1 第1回	No.1 第1回
1-6	決算振替と勘定の締切	No.1 第2回	No.1 第1回	No.1 第1回
1-7	財務諸表の作成	No.1 第2回	No.1 第1回	No.1 第1回
1-8	英米式簿記法 ※	No.1 第2回	No.1 第2回	No.1 第1回
1-9	費用・収益の見越・繰延 ※	No.1 第2回	No.1 第2回	No.1 第2回

※ 上記論点は、日商簿記検定試験3級及び簿記入門Ⅰ・Ⅱで既に学習済みの内容となります。

1-1 大陸式簿記法

1 仕訳と転記

簿記の目的は、すべての取引を借方要素と貸方要素に分解して勘定に記録し、最終的に企業の財政状態と経営成績を明らかにすることにある。ただし、取引を勘定に直接記録しようとすると記録ミスが生じやすいため、勘定に記録する前に、取引を(1)記録すべき勘定科目、(2)借方・貸方の別及び(3)金額に分解し（これを「仕訳」という。）、その結果を勘定に記録することとなる（これを「転記」という。）。なお、仕訳を行う帳簿を「仕訳帳」といい、すべての勘定が設けられている帳簿を「総勘定元帳」という。



2 簿記一巡の手続

大陸式簿記法とは、記帳原則に忠実な簿記法であり、総勘定元帳への記録をすべて仕訳帳における仕訳を転記することにより行う。なお、大陸式簿記法には、「純大陸式簿記法」と「準大陸式簿記法」があるが、本試験での重要度及び効率的な学習を行うという観点から、後者により解説を行う。

帳簿上の手続				帳簿外の手続	
仕 訳 帳		総 勘 定 元 帳		試 算 表	財 務 諸 表
開 始 手 続	開 始 仕 訳	→ 転 記			
	再 振 替 仕 訳	→ 転 記			
営 業 手 続	営 業 仕 訳	→ 転 記			
決 算 手 続	決算整理仕訳	→ 転 記	→ 決算整理前%		
	決算振替仕訳	→ 転 記	→ 決算整理後%		
	(残高振替仕訳)	→ 転 記			
				→	...

簿記一巡の手続

<メ モ>

1-2 開始手続

1 開始手続

開始手続とは、期首において営業手続に先立って行われる手続であり、次に示す開始仕訳・転記及び再振替仕訳・転記からなる。

2 開始仕訳・転記

期首における勘定残高を記帳する手続であり、資産勘定は負債勘定及び純資産（資本）勘定を相手勘定として、負債勘定及び純資産（資本）勘定は資産勘定を相手勘定として会計処理を行う。

なお、開始仕訳の相手勘定は複数になることが通常であるため、摘要欄には「諸口」と記入するが、その内容を明確にするために「前期繰越」と記入する場合もある。

(借) 資 産 勘 定	×××	(貸) 負 債 勘 定	×××
		純資産（資本）勘定	×××

3 再振替仕訳・転記

期首における経過勘定（前払費用・未払費用・前受収益・未収収益）を費用勘定及び収益勘定に振り戻す手続であり、開始仕訳・転記に続けて行われる。

(借) 費 用 勘 定	×××	(貸) 前 払 費 用	×××
(借) 未 払 費 用	×××	(貸) 費 用 勘 定	×××
(借) 前 受 収 益	×××	(貸) 収 益 勘 定	×××
(借) 収 益 勘 定	×××	(貸) 未 収 収 益	×××



研究 純大陸式簿記法

純大陸式簿記法では、開始仕訳にあたり**開始残高勘定**を設定して会計処理を行う。その場合の開始仕訳は次に示すとおりである。

(借) 資 産 勘 定	×××	(貸) 開 始 残 高	×××
(借) 開 始 残 高	×××	(貸) 負 債 勘 定	×××
		純資産（資本）勘定	×××

設 例

期首（x 1 年 4 月 1 日）における勘定残高は、次に示すとおりである。

- (1) 資産勘定：現 金 4,500円、繰越商品 500円
 (2) 負債勘定：未払営業費 100円
 (3) 純資産（資本）勘定：資 本 金 4,900円

解 説（単位：円）

1 開始仕訳

現 金	4,500	未 払 営 業 費	100
繰 越 商 品	500	資 本 金	4,900

現 金		未 払 営 業 費	
4/1 諸 口	4,500	4/1 諸 口	100
繰 越 商 品		資 本 金	
4/1 諸 口	500	4/1 諸 口	4,900

2 再振替仕訳

未 払 営 業 費	100	営 業 費	100
-----------	-----	-------	-----

現 金		未 払 営 業 費	
4/1 諸 口	4,500	4/1 営 業 費	100
繰 越 商 品		資 本 金	
4/1 諸 口	500	4/1 諸 口	4,900
営 業 費			
		4/1 未払営業費	100

トレーニング 問題 1

テーマ 1

簿記一巡の手続

テキストP. 5

1 開始仕訳

2 再振替仕訳

--	--	--	--

現 金

繰 越 商 品

営 業 費

未 払 営 業 費

資 本 金

問題 1 簿記一巡の手続(1)**基礎**

- ㊦ 4分 -

当社の下記の【資料】に基づいて、開始仕訳及び再振替仕訳と各勘定への転記を行いなさい。

なお、当期はx 1年4月1日からx 2年3月31日までである。

【資 料】期首（x 1年4月1日）における勘定残高は、次に示すとおりである。

- (1) 資産勘定：現 金 9,000円、繰越商品 1,000円
- (2) 負債勘定：未払営業費 200円
- (3) 純資産勘定：資 本 金 9,800円

⇒解答編 P. 1

問題 2 簿記一巡の手続(2)**基礎**

- ㊦ 6分 -

当社の下記の【資料】及び **問題 1** の結果が反映された答案用紙に基づいて、次の問に答えなさい。なお、当期はx 1年4月1日からx 2年3月31日までである。

問 1 営業仕訳と各勘定への転記を行いなさい。なお、営業取引の転記については、日付の代わりに取引番号を記載すること。

問 2 決算整理前試算表を作成しなさい。

【資 料】期中（x 1年4月1日～x 2年3月31日）における営業取引は、次に示すとおりである。

- (1) 商品8,000円を現金で仕入れた。
- (2) 商品12,000円（売価）を現金で売り上げた。
- (3) 営業費3,500円を現金で支払った。

⇒解答編 P. 2

問題3 簿記一巡の手続(3)

研究

—🕒4分—

問題2 で作成した決算整理前試算表を以下の2つのタイプにより示しなさい。

問1 合計試算表

問2 合計残高試算表

(留意事項)

金額が0の場合には()内に「——」と記載すること。

⇒解答編 P. 3

問題4 簿記一巡の手続(4)

基礎

—🕒6分—

当社の下記の【資料】及び 問題2 の結果が反映された答案用紙に基づいて、次の問に答えなさい。なお、当期はx1年4月1日からx2年3月31日までである。

問1 決算整理仕訳と各勘定への転記を行いなさい。

問2 決算整理後試算表を作成しなさい。

【資料】期末(x2年3月31日)における決算整理事項は、次に示すとおりである。

(1) 期末商品棚卸高 1,200円

(2) 未払営業費 300円

⇒解答編 P. 4

問題 1

 簿記一巡の手続(1)

【解 答】

開始仕訳

(単位：円)

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
4 / 1	現 金	9,000	未 払 営 業 費	200
	繰 越 商 品	1,000	資 本 金	9,800

再振替仕訳

(単位：円)

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
4 / 1	未 払 営 業 費	200	営 業 費	200

《総勘定元帳》(単位：円)

現 金		未 払 営 業 費	
4/1 諸 口	9,000	4/1 営 業 費	200
		4/1 諸 口	200
繰 越 商 品		資 本 金	
4/1 諸 口	1,000		4/1 諸 口
			9,800
営 業 費			
	4/1 未払営業費	200	

問題2 簿記一巡の手続(2)

【解 答】

問1

(単位：円)

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
(1)	仕 入	8,000	現 金	8,000
(2)	現 金	12,000	売 上	12,000
(3)	営 業 費	3,500	現 金	3,500

《総勘定元帳》(単位：円)

現 金			未 払 営 業 費		
4/1 諸 口	9,000	(1) 仕 入	8,000	4/1 営業費	200
(2) 売 上	12,000	(3) 営業費	3,500	4/1 諸 口	200

繰 越 商 品			資 本 金		
4/1 諸 口	1,000			4/1 諸 口	9,800

仕 入			売 上		
(1) 現 金	8,000			(2) 現 金	12,000

営 業 費		
(3) 現 金	3,500	4/1 未払営業費 200

問2

決算整理前試算表

(単位：円)

現 金	(9,500)	資 本 金	(9,800)
繰 越 商 品	(1,000)	売 上	(12,000)
仕 入	(8,000)		
営 業 費	(3,300)		
	(21,800)		(21,800)